

ファーストペンギン通信

第8号
発行日
令和2年6月15日(月)
発行人
八王子実践中学校
中学部長 石川敦史

全校集会実施

登校・在宅の併用授業の第3日目、6月10日（水）2校時に中学全生徒による集会を実施しました。

登校している生徒は3密を避けるために、各教室にいて、各学年の在宅生は全員オンラインでこの集会に参加しました。



まずは、3年生担任の伊藤先生から会の進行についての説明。そして、生徒会長3年生の□□さんがオンラインで挨拶をし、その後の司会も務めました。

副会長2年生の□□さんは新入生に対して、わからないことがあれば遠慮せず上級生に尋ねてくれるようと温かい言葉をかけてくれました。

各学年の学級委員長・副学級委員長が全校生徒にそれぞれの思いを語りました。実際に教室から、そして自宅からです。



石川先生は、青空をバックにして、感染を防ぐためのみんなの協力に感謝すると同時に、現段階の行事予定についても発表してくれました。そして、中学校スタッフの紹介があり全校集会を終えました。*□□は生徒名

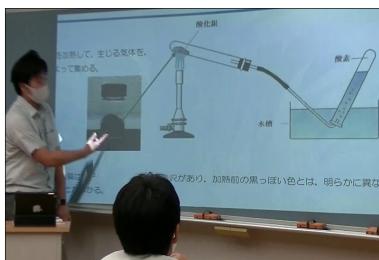


登校、オンラインの併用授業で 3密を避け、学習成果を

2年生理科

6月11日（木）、今日は2年生の理科を見学しました。担当は赤塚先生で、酸化銀に熱を加えたときに起きる化学変化を反応式で表す授業です。

「本来ならば、実験をするのですが」という断りがあつたうえで、実験内容の図示をロイロノートを使い、プロジェクターで黒板に写し出しました。



黒板とは別に天井に取り付けられた50インチモニターには在宅でオンライン授業を受けている生徒の顔が並んでいます。

教材の提示方法

先生のPCに入っている書類

を、画面共有機能でオンラインに載せる方法。これが最も一般的な方法です。生徒のiPadに映るので、細かなところまでよくわかります。そのプリントに文字や解説を書き込むこともできます。



説明では納得できていないことがよくわかりました。教科担当はすかさず、「うまく整理がつかなかったら、また質問してね。」と返していました。



最後の化学反応式の完成に至るまで、教室にいる生徒だけでなく、オンライン参加の人にも発言させ、さながらクラス全員が教室にいるかのような授業展開でした。

第2波、第3波の感染が起つたとしても授業だけは何となると思いました。もちろん、そうはなって欲しくはないけれども。

これがハイブリッド授業です